

産学官フロントライン

中国総合通信局

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）について

～情報通信分野における戦略的な競争的研究資金～

中国総合通信局情報通信連携推進課

総務省では、ICTにおけるイノベーションの創出、研究者や研究機関における研究開発力の向上、世界をリードする知的財産の創出などを目的として、独創性や新規性に富む課題の研究開発を支援する戦略的情報通信研究開発推進事業（以下、SCOPEと言う。）を実施しています。

このSCOPEは、情報通信技術（ICT）分野の研究開発における競争的研究資金で、研究資金の配分機関が広く研究開発課題を募り、専門家を含む複数の者による科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて、提案された課題の中から実施すべき課題を採択し、研究者等に配分するものです。SCOPEの概要は次のとおりです。

1 5つのプログラムにおいて研究開発課題を公募

(1) ICTイノベーション創出型研究開発

国として今後取り組むべき現時点の課題を分類及び整理した「研究開発戦略マップ」において、イノベーションを創出する独創性や新規性に富む研究開発課題に対して研究開発を委託します。

(2) 若手ICT研究者等育成型研究開発

ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者（個人又はグループ）が提案する研究開発課題（ビッグデータの利活用のための研究開発課題を含む。）に対して研究開発を委託します。

(3) 電波有効利用促進型研究開発

電波の有効利用をより一層推進する観点から、新たなニーズに対応した無線技術をタイムリーに実現するとともに、電波利用環境を保護するための技術の研究開発を委託します。

(4) 地域ICT振興型研究開発

ICTの利活用によって地域貢献や地域社会の活性化を図るために、地域に密着した大学や、地域の企業等が提案する研究開発課題に対して研究開発を委託します。

(5) 先進的通信アプリケーション開発推進型研究開発

「新世代ネットワーク」の展開を加速し、イノベーション、新市場の創出、国際競争力強化等を図るため、経路制御、帯域制御等の新世代ネットワークの機能を用いた先進的な通信アプリケーションの開発を委託します。

2 研究開発を複数のフェーズに分けて多段階選抜を実施

SCOPEでは初年度にフェーズⅠとして、本格的な研究開発を行うための予備実験、理論検討等の研究開発を実施し、フェーズⅡにおいて、本格的な研究開発が実施されます。

フェーズⅠからフェーズⅡへの移行時には、フェーズⅠにおいて行われた研究開発の成果を踏まえて、フェーズⅡの目標設定、実施計画、予算計画及び実施体制の妥当性等が評価され選抜採択が実施されます。

3 二段階評価による厳正な評価を実施

SCOPEでは広く研究開発課題を募り、プロ

グラムディレクター（PD：研究開発プログラムについて統括する権限を持つ責任者）、プログラムオフィサー（PO：研究開発プログラムを構成する個々の研究開発課題の選定、評価等の実務を行う責任者）による、管理・評価体制

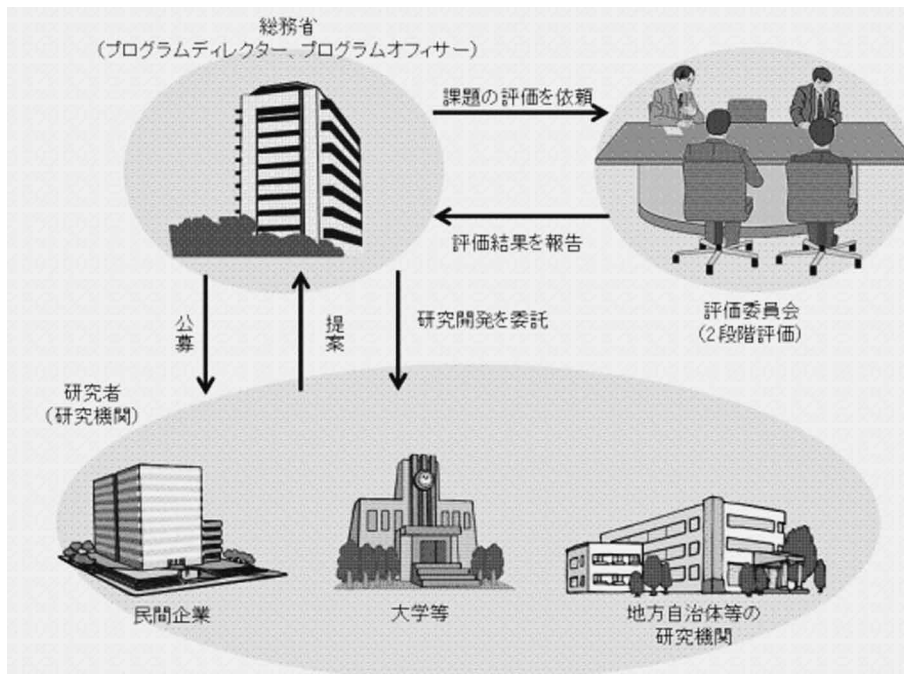
の下、提案された課題の中から専門家を含む複数の者による評価に基づいて実施すべき課題を採択し、研究開発資金が配分されます。

研究費とは別に間接経費（直接経費の30%以内）を配分します。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
全国の応募件数	294件	249件	252件	214件	365件
全国の採択件数	54件	52件	51件	68件	115件
予算額(継続課題等を含む)	21.8億円	17.9億円	16.5億円	23.4億円 ^{※1}	23.5億円 ^{※2}

※1 24年度予算額には、ICTグリーンイノベーション推進事業（継続課題）分を含みます。

※2 25年度予算額には、ICTグリーンイノベーション推進事業（継続課題）分及び電波利用料財源を含みます。



問い合わせ先

〒730-8795

広島市中区東白島町19-36

中国総合通信局

(情報通信連携推進課)

TEL：082-222-3471

e-mail：renkei-chugoku@soumu.go.jp